

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則ならび本大会規定によって行う。

2. 競技者の招集について

①リレー以外の招集

①1次コール→競技開始1時間前までに招集所のエントリーリストに○をつける。招集所は競技場東出入口付近とする。

②2次(現地)コール→招集開始時刻に現地で競技者係に点呼を受け、その際アスリートビブスの点検を受ける。

・2次コールの代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人が最初の競技の2次コールの際に競技者係に申し出ること。

②リレーの招集

・1年及び2年リレーのオーダー用紙は、記録室に競技開始60分前までに提出し、招集開始時刻に現地で競技者係に点呼を受ける。

・共通リレーのオーダー用紙は、記録室に招集開始60分前までに提出し、招集開始時刻に現地で競技者係に点呼を受ける。

・オーダー用紙提出後、提出後切り時刻までであれば、変更して再提出することができる。

③各種目の招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始10分前	競技開始 5分前
フィールド競技(跳躍競技)	競技開始40分前	競技開始30分前
フィールド競技(投擲競技)	競技開始30分前	競技開始20分前

3. 競技運営について

①スタートはイングリッシュコマンドとし、不正スタートをした選手は1回で失格とする。スタートにおける不適切行為は、競技規則第162条5を適用せず「注意」にとどめる。

②トラック競技はすべてタイムレース決勝で行う。

③フィールド競技(走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投)は3回の試技で順位を決定する。

④フィニッシュ後、ただちに決勝点に戻り、審判員の指示があるまでレーンにとどまる。

⑤順位、記録等は掲示せずアナウンスのみで知らせる。

⑥天候により競技日程の変更をすることがある。

4. アスリートビブスについて

①競技者は、競技中、胸と背に2枚のアスリートビブス(20×25cm・数字の太さ1.5cm)をつけなければならない。ただし、跳躍競技は胸または背の一方でもよい。

5. フィールド競技について

①走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競 技		
走高跳	男子	1m25	1m30～1m60	5cmずつ	1m63以降 3cmずつ
	女子	1m10	1m15～1m45	5cmずつ	1m48以降 3cmずつ
棒高跳	男子	1m80	2m00～2m60	20cmずつ	2m70以降 10cmずつ

②次の競技については、以下の記録に達しない場合は計測しないことがある。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投
男子	4m20	—	—	—
女子	3m80	—	—	—

※天候・その他の都合で計測ラインを変更することがある。

6. 表彰について

①各種目第3位までに賞状を授与する。ただし、表彰式は行わない。

②新人大会は、男女別に、学校毎に得点を集計し、学校対抗戦とする。その得点は1位8点、2位7点～8位1点とする。同点の場合は、1)各種目1位の多い方、2)各種目2位の多い方を上位校とする。優勝校に賞状と優勝杯を、2位・3位校に賞状を授与する。

7. 競技場使用について

①準備運動(ウオーミングアップ)は野球場(多目的グラウンド)で行う。投てき練習は、指定された場所でメディシンボールのみ使用を認める。

②本部前の通行は禁止とする。

③体育館の使用は禁止とする。

④貴重品の管理は各自の責任を持って行い、ゴミは各自で持ち帰ること。

8. その他

①800m以上のトラック種目におけるランニングシューズのソールの厚さに関する競技規則第143条を適用しない。該当する選手は2次(最終)コール時に競技役員に申し出ること。

②参加者はマスクを着用すること。選手は運動(競技・アップ・ダウン)以外の場面ではマスクを着用すること。

③選手は競技や食事の前後、トイレ使用後などの手洗い、手指消毒の徹底に努めること。